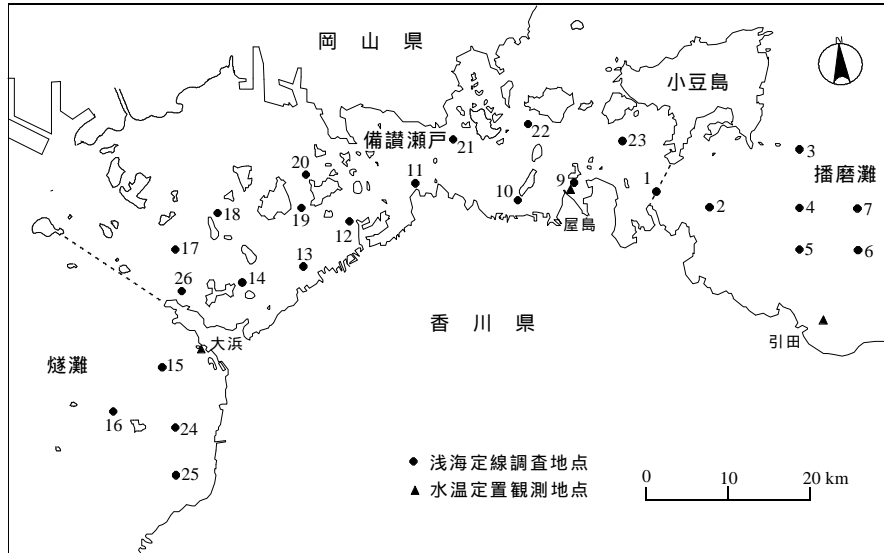


# 香川県漁海況速報 平成20年 4月 (H20-1号)

香川県水産試験場

## 1. 海況

### 1) 観測地点



### 2) 浅海定線調査

#### (1) 調査日

平成20年4月9日 (播磨灘) 4日 (備讃瀬戸、燧灘)

#### (2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並みからかなり高め」、塩分は「平年並みからやや高め」、透明度は「平年並みからかなり高め」、溶存酸素は「やや低めから平年並み」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/L)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播磨灘	7地点平均値	11.1	11.0	10.5	32.8	32.9	33.0	10.2	6.26	5.97
	平年値	10.5	10.1	9.8	32.4	32.5	32.6	8.6	6.45	6.17
	平年偏差	0.7	0.9	0.7	0.4	0.4	0.4	1.6	-0.19	-0.20
	状況	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや低め	やや低め
備讃瀬戸	14地点平均値	11.6	11.6	11.6	33.1	33.1	33.1	6.3	6.13	6.01
	平年値	10.6	10.5	10.5	32.6	32.7	32.7	5.6	6.21	6.18
	平年偏差	1.0	1.1	1.1	0.5	0.4	0.5	0.7	-0.08	-0.17
	状況	やや高め	かなり高め	かなり高め	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み	やや低め
燧灘	4地点平均値	12.1	11.8	11.3	33.1	33.3	33.5	11.4	6.18	6.08
	平年値	11.7	10.7	10.5	32.9	33.1	33.1	8.4	6.29	5.94
	平年偏差	0.5	1.1	0.9	0.2	0.2	0.4	3.0	-0.11	0.14
	状況	平年並み	かなり高め	やや高め	平年並み	平年並み	やや高め	かなり高め	平年並み	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和48年（1973）1月～平成13年（2002）12月

溶存酸素：昭和48年（1973）2月～平成13年（2002）12月

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み	0	平年偏差 < 0.6	( : 標準偏差)
やや高め (やや低め)	0.6	平年偏差 < 1.3	
かなり高め (かなり低め)	1.3	平年偏差 < 2.0	
著しく高め (著しく低め)	2.0	平年偏差	

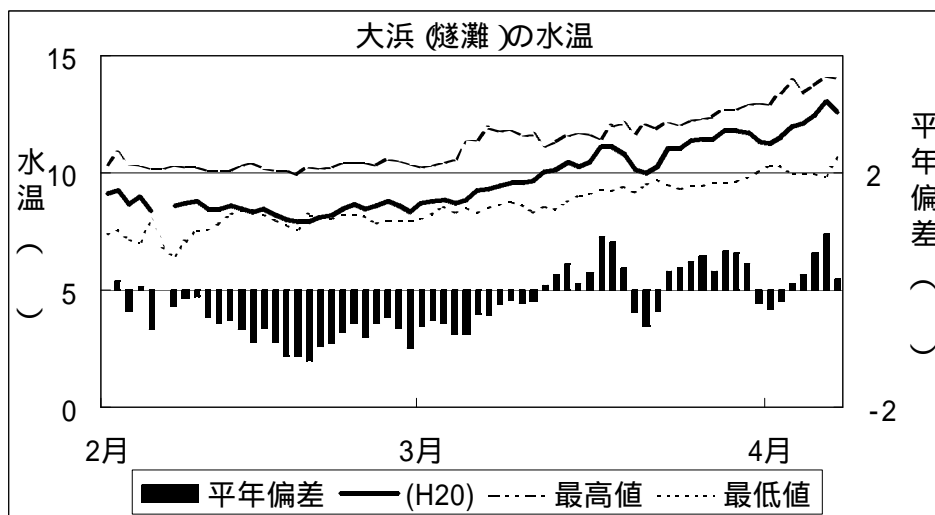
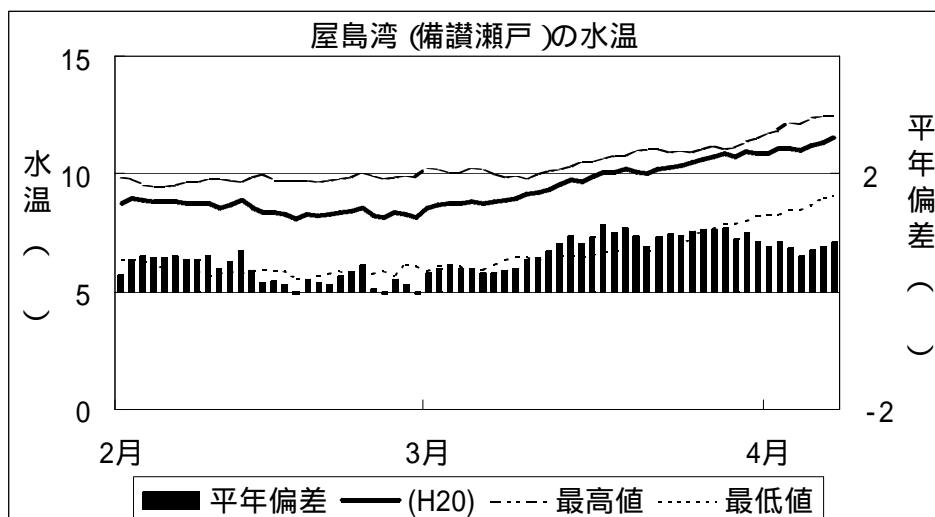
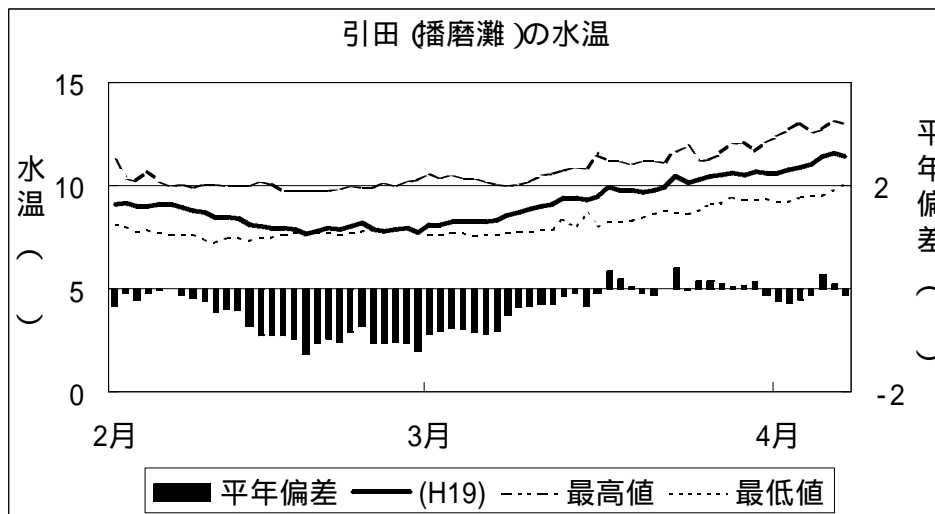
### 3) 定置観測(水温)

播磨灘(引田): 3月上旬は平年よりやや低め、中旬以降は平年並みで推移している。

備讃瀬戸(屋島): 3月上旬は平年並み、中旬以降はやや高めからかなり高めで推移している。

燧灘(大浜): 3月上旬はやや低めから平年並み、中旬以降はほぼ平年並み、時折やや低めまたはやや高めで推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)～平成19(2007)年  
屋島: 昭和50(1975)～平成19(2007)年



#### 4) 赤潮 (3月12日～4月14日)

播磨灘：4月9日より南西部でノクチルカ赤潮が発生している。

備讃瀬戸：発生なし。

燧灘：発生なし。

#### 5) 卵稚仔

調査日：平成20年4月9日 (播磨灘) 4日 (備讃瀬戸、燧灘)

出現量

個 (尾) / 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.50
備讃瀬戸平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.27	0.13
燧灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
総平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.27	0.20

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	-	-	0.0%	0.0%
備讃瀬戸平均	-	-	0.0%	0.0%
燧灘平均	0.0%	-	0.0%	0.0%
総平均	0.0%	-	0.0%	0.0%

- : 平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55 (1980) ～平成19 (2007) 年度

マイワシ：平成5 (1993) ～平成19 (2007) 年度

各調査点でカタクチイワシ卵の出現はなかった。

## 2. 漁況

3月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、ヒラメが漁獲されているが、全般的に低調である。</p> <p>桝網では主にボラ、スズキ、クロダイ、ヒラメ、マダイ、コウイカ類が漁獲されている。</p> <p>サワラ流し刺し網は4月20日から操業が開始される。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、ヒラメ、イイダコ、テナガダコが漁獲されている。</p> <p>高松・庵治沖のイカナゴ込網の3月までの漁獲量は、799トﾝで、前年の76%であったが、シンコは766トﾝの漁獲があり、前年の229%と大幅に増加した。</p> <p>中讃・高松沖のタイラギ潜水器漁業は4月20日まで操業予定だが、現時点で、漁獲量は前年の約80%であった。</p>
燧 灘	<p>底びき網では主にクロダイ、ウマヅラハギ、ヒラメ、シャコ、小エビ類を漁獲している。</p> <p>桝網は3月15日から漁期が始まり、主にマダイ、ウマヅラハギ、スズキ、クロダイ、コウイカ類が漁獲されているが、特に、ウマヅラハギが多い。</p> <p>さより機船船びき網は4月10日から漁期が始まり、漁獲量は全体で700～800kg/日で平年よりやや少ない。</p>

